

# 定住自立圏について

資料1

## 定住自立圏の意義

- 圏域の中心的な役割を担う中心市（帯広市）と近隣市町村（管内18町村）が、相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する。

【定住自立圏で求められる3つの基本的事項】

- ① 生活機能の強化（医療・産業振興 など）
- ② 結びつきやネットワークの強化（公共交通 など）
- ③ 圏域マネジメント能力の強化（職員の人事交流 など）



十勝の住民の豊かな生活の確保  
十勝のさらなる発展と魅力向上

## 定住自立圏形成の流れ

### ①中心市宣言

H22.12

- 人口5万人程度以上
  - 昼夜間人口比率「1」以上
- などの要件を満たした市が、連携する意思を有する近隣市町村の意向に配慮しつつ、地域全体のマネジメント等において中心的な役割を果たす意思等を公表。

### ②形成協定

H23.7  
(H28.3改正)

中心市宣言を行った中心市と近隣市町村が1対1で、連携する取り組みについて、関係市町村の議会の議決を経て、締結する協定

十勝定住自立圏は、帯広市と管内18町村が24項目の取り組みに関する協定を締結。

### ③共生ビジョン策定

第1期：H23.7  
第2期：H28.3

中心市が、形成された定住自立圏全体を対象として、圏域の将来像や、協定に基づき推進する具体的取組を「共生ビジョン」に記載。

平成29年3月の改訂にあたり、さらなる進捗管理を行うため、各取組項目ごとの数値目標として基本目標圏成果指標を設定。

## ビジョン懇談会の目的と役割

- ◇ 毎年度、共生ビジョンの改訂を行うにあたり、各政策分野における民間や地域の関係者の意見を参考とするために開催。
- ◇ 協定項目や共生ビジョンを踏まえ、今後、定住自立圏で取り組むべき事業などのご提案をいただく。
- ◇ 十勝定住自立圏では、年2回（進捗等の確認、改訂に向けた意見交換）程度の開催を想定。

